



療養型病院における MDRPUの発生状況と対策

宮垣 真理 さん

ほうせんか病院
皮膚・排泄ケア認定看護師



社会医療法人神鋼記念会神鋼記念病院の消化器センターで勤務し、2008年に皮膚・排泄ケア認定看護師の資格を取得。

認定看護師教育課程皮膚・排泄ケアコースの専任教員として出向したのち、褥瘡専従看護師として勤務。

訪問看護ステーションでの勤務を経て、2022年より医療法人成和会ほうせんか病院でWOCナースとして勤務。

ほうせんか病院における入院患者の傾向

当院は大阪府北摂の三島二次医療圏に位置する220床の療養型病院です。

入院患者の平均年齢は80.6歳で、75歳以上の後期高齢者患者は入院患者全体の80%、中でも90歳以上の方が入院患者全体の25%に上り、平均在院日数は154.7日と長期入院の患者が多い傾向にあります。（2023年7月現在、入院患者217名）

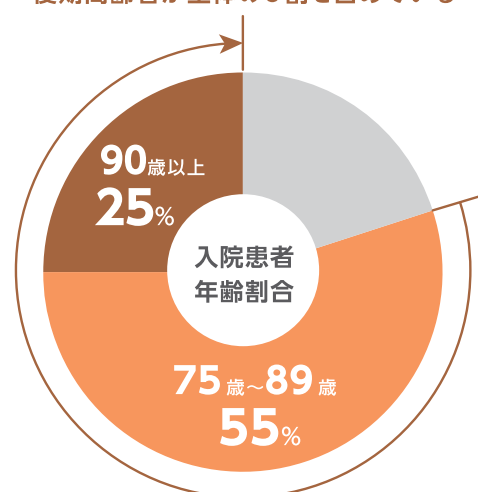
また、日常生活自立度はランクB、Cの患者が多数を占めており、生活全般を他者に委ねている患者が多いです。

原疾患以外にも様々な基礎疾患を持ちながら療養されている患者が多いということであり、同時に皮膚が脆弱な傾向にあります。

患者は様々な医療デバイスを用いていますが、その中でも使用頻度が多いのはバルーンカテーテル、経鼻栄養のための胃管カテーテル、PICCカテーテル、全身状態モニタリングのための心電図や酸素飽和度モニターなどです。

様々な形状をした医療デバイスを複数使用するため、皮膚と接触し発赤や創傷を生じてしまう医療関連機器褥瘡（MDRPU）事例も少なくない状況です。

75歳以上の
後期高齢者が全体の8割を占めている



後期高齢者の MDRPU 対策における課題 ……………

後期高齢者の割合が高い当院では

『医療機器の圧迫による MDRPU の発生』『MDRPU 対策で使用するクッション材の選定』が課題としてありました。

◆ 医療機器の圧迫による MDRPU の発生 ◆

後期高齢者の肌は皮下組織が薄く平坦になっており、組織耐久性の低下が起きていることから、軽微な圧迫や摩擦でも MDRPU が発生し、発赤や潰瘍に至ってしまう場合があります。

◆ MDRPU 対策で使用するクッション材の選定 ◆

MDRPU の対策では毎日の皮膚観察が重要になります。

MDRPU 対策用の粘着のあるクッション材も存在しますが、皮膚観察の度に粘着のあるクッション材を剥がすと、高齢で脆弱な肌の患者では角質剥離が生じることで皮膚トラブルが発生するおそれがありました。

また、再度貼り直しができないものだと観察の度に交換の手間やコストがかかってしまう点も問題点として挙がっていました。

MDRPU 対策製品の導入 ……………

後期高齢者での MDRPU 対策が課題で対策方法に悩んでいましたが、高齢者の肌にもやさしく、皮膚観察の際に再貼付が可能なクッション材であるココロールミルなら解決することができ、導入することを決めました。



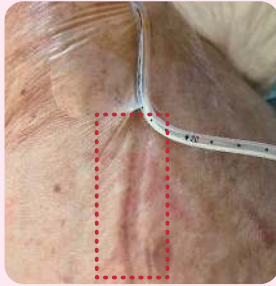
ココロールミルを使用した MDRPU 対策 ……………

当院でココロールミルを使用して対策できた事例としては『腎瘻カテーテル』『バルーンカテーテル』『気管切開用カニューレ』が挙げられます。それぞれの MDRPU 対策について解説していきます。



発生事案

背部に挿入した腎瘻カテーテルが背中の皮膚を圧迫しMDRPUが発生していた



対策

カテーテルによる圧迫を軽減するため、荷重がかかりそうな箇所にはココロールミルを全面貼付した



結果

低栄養による沈下性浮腫があるためココロールミルの圧痕は残っているが、直接カテーテルが接触して起こった発赤は消失し、新たな発赤は見られていない



十分に対策できていなかった事例



カテーテルが接触している全面にココロールミルを貼付できておらず、剥がしてみると一部発赤が生じていた

発生事案

大腿部に接触しているチューブの圧迫により発赤や水疱を生じていた



対策

チューブの接触による圧迫を軽減するために、チューブの下にココロールミルを貼付した



結果

ココロールミルを貼付したことで、発赤や水疱などを起こすことなく経過できた

point

ココロールミルの上に固定テープを貼付することができる

発生事案

気管切開用カニューレの上部が甲状軟骨が隆起している部分に接触し発赤が生じていた



対策

接触による圧迫を軽減するために、ココロールミルを差し込むように貼付した



結果

ココロールミルを皮膚との隙間に挿入する事で、潰瘍などを起こすことなく経過できた

point

気管切開部から痰の流出がある場合にはYカットガーゼを挿入。痰の量で判断し使い分けすると良い。



ココロールミル 自重による褥瘡対策への応用 ……………



ココロールミルは MDRPU 対策に特化した商品ですが、シリコーンゲルの特性を生かして褥瘡対策に使用する事もできました。ココロールミルを貼付した上からエアウォールふ・わ・り（フィルムドレッシング材）を臀裂に対してクロスに貼付する事で排泄物の侵入を防ぎ、剥がれにくくすることが可能でした。

MDRPU 対策製品を導入した結果 ……………

当院は後期高齢者が多く、脆弱な皮膚の患者が多数を占めています。MDRPU が発生しそうな箇所にあらかじめココロールミルを貼付することで MDRPU を起こさずに経過する患者が多かったです。ガーゼで代用していた時に比べると、粘着があるココロールミルは剥がれにくく、剥がしたいときには角質を痛めずに剥がすことが可能なのは大きいメリットと考えます。当院ではこれからも継続して MDRPU 対策として使用していきたいと思っています。

ココロール カテ用を使用した MDRPU 対策

ココロールシリーズには滅菌で個包装タイプになっているココロール カテ用という製品もあります。ほうせんか病院では、未滅菌タイプのココロールミルと滅菌タイプのココロール カテ用を場面に応じて使い分けするようにしています。今回は中心静脈カテーテルでの対策方法を解説していきます。



◆ 中心静脈カテーテルによる MDRPU ◆



中心静脈カテーテルの羽部分が皮膚に接触し MDRPU が発生



対策

銀含有ウレタンフォームドレッシングを貼付し潰瘍が治癒後に MDRPU の再発防止を行った。フィルムドレッシング材を貼付前に血管留置カテーテル専用のココロール カテ用を貼付。



結果

ココロール カテ用を使用し、潰瘍化した箇所の再発防止ができた。

- 以上の内容は、あくまで予防対策の一例として紹介するものであり、効果を保証するものではありません。
- 執筆者のご所属、施設の状況、ケア方法、症例などは執筆当時（2025 年 5 月）時点のものです。

skinix の製品があなたのチカラになります。

脆弱肌しやすい、クッション・ドレッシング
ココロールミル

器具圧迫からも
剥がす時のダメージからも
肌を守り続ける。



詳しくは
web サイトへ



器具圧迫をやわらげる
“クッション・ドレッシング”
ココロール

カテーテルなどの医療器具の
圧迫から肌を守る。



詳しくは
web サイトへ



テープが医療にできること、もっと。

skinix
www.skinix.jp

株式会社 共和 メディカルグループ
ZZ060 25,12

みんなの、学術レポート Vol.9 P4